

1 日時

平成31年3月25日（月）午後1時30分～午後3時

2 場所

碧南市藤井達吉現代美術館多目的室

3 出席者及び欠席者

(1) 出席委員 平岩統一郎、鈴木並生、菅沼正則、杉浦明、永坂幸子、
都築明、金原宏行、吉田俊英、中根孝明

(2) 欠席委員 白石和己、杉浦英理（以上2名欠席）

(3) 事務局職員 生田弘幸、奥谷直人、木本文平、池田竜也、神谷幸宏、水村浩一郎、
浅野泰子、北川智昭、大長悠子、豆田誠路、三宅翔士

4 傍聴者 0人

5 あいさつ

6 議題

協議事項

(1) 美術館運営方針及び事業概要について

(2) 平成30年度活動状況について

(3) 平成31年度活動計画について

(4) 美術館施設整備について

報告事項

(1) 平成30年度第1回、第2回収集部会の結果について（非公開）

7 会議内容

（会長あいさつ） 本日は大変お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。当館は平成20年4月の開館以来、様々な企画展を開催して参りましたが、今年の1月26日には、総観覧者数が70万人に達しました。

さて、ここ碧南市の交通はといえば、何年か前に名鉄三河線が碧南駅止まりになってしまいました。ですので、来館されるお客様は、他の目的地へ向かう途中にちょっと立ち寄りというのではなく、わざわざ美術館を目指してお越しになる訳です。それにも関わらずこれだけ多くの観覧者があるのは、ひとえに関係者皆さんの努力の賜物だと思います。今年も北大路魯山人展など充実した企画展が予定されておりますので、多くの集客が見込まれるのではないかと考えております。

本日ご協議いただく議題のなかには、収蔵庫の増設事業も含まれております。こうしたハード面の整備に加え、今後は展示、調査研究に従事する学芸員の育成といったソフト面にも目を向けていく必要があるでしょう。

それでは、当館の活動状況や今後の計画などにつきましてご協議をいただくこととなりますが、忌憚のないご意見を頂戴致しまして、当館の発展にお力添えくださいますことをお願い申し上げます、開会のご挨拶と致します。

1 協議事項

(1) 美術館運営方針及び事業概要について

議 長＝事務局に説明を求める。

事務局A＝美術館運営方針及び事業概要を説明。

(2) 平成30年度活動状況について

議 長＝事務局に説明を求める。

事務局（担当学芸員）＝企画展、常設展、共催展、教育普及、保存、調査研究など活動状況を説明。

事務局A＝今年度の2月末時点での総観覧者数は、58,056人となっております。今後も良質な企画展を通じて、より多くのお客様にお越しいただけるよう努めて参ります。以上を持ちまして平成30年度の活動状況の報告とさせていただきます。

議 長＝協議事案について委員の皆様よりご質問、ご意見等ございますか。

委 員A＝私、「へきなんの文化財展」で『明月記』の断簡や『てこくま物語』などを拝見しまして、改めて碧南の文化・歴史の奥深さに感動しました。今後は、歴史系の学芸員を増やしていただきたい。近代を中心とする美術はもちろんですが、歴史系の調査研究が充実すれば、自ずとこの地域の全体像がより鮮明に見えて来るのではないのでしょうか。現状、歴史系学芸員が1人というのは負担が大きすぎる。是非とも増員をご検討いただきたいと思います。

事務局B＝今すぐ策を講じるのは難しいですが、前向きに検討させていただきます。

委 員B＝学芸員の実習生受け入れの件ですが、5日間と決まっていますか。

事務局C＝はい。開館以来5日間で、理論と実習の両面から教えています。

委 員B＝私が知る美術館では、10人くらいに絞っています。一定の期間内で、その間集中的に学生を指導するのは学芸員にとっても負担ですから、応募の際にレポートを課すなどして、少人数制の選抜方式にする方が良い。あるいは、地元出身者であれば優先して採用するとか、検討してみてもいかがでしょうか。

事務局C＝ご意見に賛同します。愛知県美術館にいた頃は、美術史学を学ぶ学生に限定して

いました。当館では、美術館を地域に身近な存在にしたいという思いで碧南出身、あるいはゆかりの人物であることを求めています。10人も20人も来ましたら一定の選考基準を設けることも考えますが。もう一点、「なぜその美術館で実習したいのか」という志望動機も重要で、応募の際にレポートを課しています。

議 長＝木本館長より、これまでの議論の総括あるいはご意見がありましたらお聞かせいただけますか。

館 長＝はい。日々、学芸員と事務方がよく協力し合い、業務をこなしていることに館長として非常に嬉しく思っております。当館の「カフェむぎの家」や近所の和菓子屋とのコラボレーション、ミュージアム落語など色々な企画が実現しているのも有難いなと感じます。それから教育普及、出前講座やワークショップの開催数や内容には、ご好評をいただいております。これは、当館の特徴を成す一要素とも言えます。また、今年は「愉しきかな！人生展」で認知症の方を対象にしたワークショップを開きました。これは新奇な試みと受け止められたようで、一般財団法人・地域創造から取材を受けました。企画展では長谷川利行展ですが、連日の猛暑や土日休日・週末を直撃した台風の影響などもあったせいか、客足は思うほど伸びませんでした。本来なら、1万5千人ほどの来場者を見込む展覧会だったのではないかと思います。それから、美術館連絡協議会が主宰する最優秀カタログ大賞の優秀カタログ賞に、長谷川利行展と佐藤玄々展が選ばれました。当館で去年開催した展覧会が2件も受賞するという快挙ですが、それほど内容が充実していたと言えるでしょう。そして課題としましては、駐車場です。遠方から車でいらっしゃるお客様は多く、スペースの確保が喫緊に求められます。そして、委員が発言されたように、碧南には美術では捉えきれない歴史及び民俗系の資料が豊富にあるのに、それらをきちんと取り扱う学芸員が決定的に不足している。最近では世代交代や終活に励む向きもあって、古い資料が元の持ち主の手を離れ行き場を失っています。刈谷市に新しく歴史系博物館ができましたけれど、場合によっては碧南から貴重な資料が流出してしまうかもしれない。今後、真剣に考え対処しなければなりません。

(3) 平成31年度活動計画について

議 長＝事務局に説明を求める。

事務局(担当学芸員)＝企画展、常設展、共催展、教育普及、保存、調査研究など活動計画を説明。

委 員A＝平成31年2月28日現在の観覧者数計の実績は58,056人なっていますが、ここに教育普及関連の参加人数は含まれていません。私はこうした方々も美術館活動に関わっているのだから美術館利用者として計上し、もっとアピールした方

が良いと思います。

事務局C＝ありがとうございます。参考にさせていただきます。

議 長＝協議事案についてご質問、ご意見ございましたらお願い致します。

(4) 美術館施設整備

議 長＝事務局に説明を求める。

事務局A＝収蔵庫等増設、美術館改修事業等について説明。

事務局C＝収蔵庫増設は最も重要な課題の一つです。また現状では悪天候の場合、美術品を風雨にさらしかねない危険な状態なのですが、入り口をダブルシャッター形式にして作品の保全管理に万全を期したいと思います。当館には保存修復が専門の正規職員が1人おりますが、全国的に見ても人員は少なく、市立の美術館では恐らく当館のみです。古文書類も多いので、ここで簡単な処置ができるようにしたいと考えています。

議 長＝1階の搬入口のシャッターは必ず閉めておくという取り決めはあるのですか。

事務局C＝はい。外側だけでなく内側にも取り付けまして、いつでも開閉できる状態にしておきます。

議 長＝盗難などが心配ですし、シャッターの操作や開閉はきちんとマニュアル化しておく必要があるのではないのでしょうか。

事務局C＝はい、おっしゃる通りです。ありがとうございます。

議 長＝予算は4億円計上されていますが、既存部分と新設部分、どのように配分するのでしょうか。また建物の坪単価はいくらですか。

事務局A＝4億の内、設計料5千万を除いた3億5000万円が新設部分の建築費用となります。尚、坪単価につきましては、現時点では190万円ほどになります。ただしあくまでも概算であり、変わる可能性もあります。

議 長＝設計業者はどのように選定するのでしょうか。

事務局A＝プロポーザル形式です。

議 長＝施工業者の選定方法はどのようなのですか。

事務局A＝入札です。

議 長＝病院建築などの専門性が高いものと違って、美術館は幅広く業者を選定した方が良いですね。それと、耐震についてはいかがですか。

事務局A＝耐震調査については開館当初に行っておりまして、今回も特に問題ございません。

2 報告事項（非公開）

(1) 平成30年度第1回、第2回収集部会の結果について

議 長＝事務局に説明を求める。

部 会 長＝報告いたします。平成30年度第1回収集部会は9月26日に、また、第2回収集部会は2月4日に開催し、慎重審議いたしました結果、部会員全員の賛成にて、全て了承の旨、決定いたしました。詳細につきましては、事務局より説明をいたします。

事務局C＝収集作品について説明。

議 長＝ご意見、ご質問がありましたらお願いしたいと思います。

事務局C＝先ほどの説明に補足しますと、現在当館の全収蔵作品は1,680点、そのうち藤井達吉作品が794点になります。どなたか作品を寄付していただける方や機関などご存知でしたら是非、教えていただければありがたいです。

議 長＝よろしいでしょうか。特にご意見等ないようですので、本日の議題につきましては以上ということにさせていただきます。